

2024年6月27日

報道関係各位

ディー・ティー・ホールディングス株式会社  
企画管理部

## 2023年度（第12期）の業績について

本日、ディー・ティー・ホールディングス株式会社の本社（山形市）にて第12回定時株主総会が開催されました。下記のとおり報告および決議されましたので、お知らせ致します。

### 記

#### 《 事業の経過および成果 》

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除となったことで、インバウンドの回復や雇用環境の改善など回復の兆しが見られましたが、物価上昇の影響を受け、消費者の大幅な購買意欲上昇には至りませんでした。また、海外においてもロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢悪化といった地政学リスクの顕在化に伴う緊張感の高まり、原材料費・エネルギーコストなどの高騰に加えて世界的なインフレの急拡大と、それに伴う金融引き締め等を背景とした世界経済の下振れ懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況下、当社グループは各部門において事業の拡大と業務の効率化を志向し、業績の向上と企業体質の強化に努めて参りました。

その結果、以下の事業経過および成果となりました。

#### 【物流関連事業】（主要子会社第一貨物株式会社の業績）

物流関連事業の主力事業である当期の貨物自動車運送事業は、日本経済が他の先進国と比べコロナ禍からの回復が遅れる中、漸く経済活動回復の兆しが見え始めました。しかしながら一方で、燃料や電気料金をはじめとする様々なモノ・サービスの価格が依然高止まりし、それに起因した買い控え等が個人消費の伸びや荷動きを抑制したことより苦戦を強いられました。国内貨物総輸送量は消費・生産関連貨物が伸び悩み、特に建設関連貨物の低調が輸送量を大きく下押ししたことにより、コロナ禍前の水準には届かず前期を下回る状況となりました。

そのような環境下において、引き続き集配業務の外部戦力依存体質からの脱却（内製化・自社化）によるコスト構造改革、燃料高騰に対するサーチャージ収受、諸物価上昇に対する賃金アップと運賃条件改善、そしてあらゆるコストの削減等に取り組み、輸送事

業の収支構造改革を推進しました。

主力事業である輸送事業におきましては、営業・業績拡大に向かって利益率を確保するなどの諸施策に鋭意取り組みましたが、2019年11月以降から続く物量低迷に歯止めがかからず、輸送事業は輸送量および売上げともにコロナ禍が発生した2020年度をも更に下回りました。

ロジスティクス事業におきましては、特定顧客が推進していた物流再編に対応すべく三つの大型物流センターを立ち上げ取り組みましたが、立ち上げ当初の混乱およびコロナ禍による巣籠需要反動減の中でも大きな煽りを受けた家電等機器の販売不振に伴う物量減が影響し、厳しい収支状況が続きました。その後混乱から脱しましたものの、ロジスティクス事業の売上げは計画を大きく下回りました。

その結果、全事業業績は、売上高 727 億 99 百万円（前期比 99.7%）、経常損失 18 億 51 百万円（前期 3 億 4 百万円の経常利益）、当期純損失 13 億 21 百万円（前期 1 億 30 百万円の当期純利益）となりました。

#### 【自動車販売事業】（主要子会社太平興業株式会社の業績）

自動車販売事業の主力事業である当期のトラック・バス分野は、今年度の自動車関連産業において、長らく続いたメーカーの半導体や部品供給不足が緩和されて生産回復が進んだことで、業績が好調に推移しました。各部門の実績を前期と比較してみると、車両販売部門では、新車販売施策の一環として即納可能な在庫の拡充を図ったことで販売台数を伸ばし、1,624 台と計画差 175 台増、前期差 329 台増と大きく伸長させることができました。

部品部門ではレス率の見直しや純正部品拡販の取り組み、整備部門では営業活動の強化や工賃単価のアップなどきめ細やかな活動により、売上利益が増加しました。しかし、営業外損益においてメーカーの製造計画変更を理由に、新車が大量に前倒し出荷されたことにより借入金が膨らみ、支払利息が増加して大幅に悪化となりました。

その結果、全事業業績は、売上高 306 億 6 百万円（前期比 117.9%）経常利益 3 億 77 百万円（前期比 116.3%）当期純利益 2 億 82 百万円（前期比 185.3%）となりました。

以上の主要子会社業績を含む当社グループ連結業績は、売上高 1,121 億 22 万円（前期比 105.0%）、経常損失 11 億 63 百万円（前期 8 億 82 百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失 8 億 59 百万円（前期 6 億 28 百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

#### 《 2024 年 3 月期決算 連結 》

	金額	前期比
営業収益	112,122 百万円	105.0%
営業損失	▲1,010 百万円	- %

経常損失	▲1,163 百万円	- %
親会社株主に帰属する当期純損失	▲859 百万円	- %
配当金	10 円/株	—

《 役員の地位および担当 》

2024 年 6 月 27 日をもって任期満了に伴い、経営体制の一層の強化を図るため、取締役 1 名を増員し、取締役 8 名（うち社外取締役 2 名）および監査役 3 名が選任されました。地位および担当は次のとおりとなりました。

氏 名	地位および担当	備考
米田 総一郎	代表取締役会長	重任
平岡 裕	代表取締役社長	重任
小原 雄大	取締役 企画管理部担当 兼 企画管理部長 兼 経理財務部副担当	重任
藤井 俊昭	取締役 総務部担当 兼 総務部長	重任
武藤 幸隆	取締役 経理財務部担当 兼 経理財務部長	重任
越智 史朗	取締役 事業開発部担当 兼 事業開発部長	新任
金子 博臣	取締役（社外取締役）	新任
小高 育幸	取締役（社外取締役）	新任
佐藤 徹	常勤監査役（社外監査役）	重任
中田 信哉	監査役（社外監査役）	重任
川島 時夫	監査役（社外監査役）	重任

退任しました取締役は、次の通りです。

氏 名	旧
大沼 八右衛門	取締役（社外取締役）
角田 マリ	取締役（社外取締役）

《 主要子会社 第一貨物株式会社 の役員の地位および担当 》

2024年6月26日をもって、取締役1名が辞任し、経営体制の強化を図るため新たに取締役2名が選任されました。地位および担当は次のとおりとなりました。

氏名	地位および担当	備考
米田 総一郎	代表取締役社長	
仲島 順	常務取締役 輸送事業本部本部長 業務一部、業務二部、営業部、営業開発部(副)担当	
庄司 啓司	常務取締役 ロジ事業本部本部長 ロジ一部、ロジ二部、営業開発部(正)担当	
松田 伸三	常務取締役 管理本部本部長 総務部、人事部、施設車両部、安全管理部担当	
小原 雄大	常務取締役 経営企画本部本部長 上海駐在員事務所長 兼 ハノイ駐在員事務所長 経営企画部、情報システム部、経理部担当	
仁科 秀樹	常務取締役 人事部長	
越智 史朗	常務取締役 ロジ事業本部副本部長 兼 経営企画本部経営企画部長	
今野 徹	取締役 ロジ事業本部副本部長 兼 ロジ一部長	
鍋谷 雅彦	取締役 北関東支社長	
松田 俊広	取締役 業務一部長	
泉川 栄光	取締役 東京支社長	
高宮 睦哉	取締役 輸送事業本部副本部長 兼 営業部長	
小熊 要治	取締役 仙台支社長	
武藤 幸隆	取締役	新任
金子 博臣	取締役 (非常勤)	新任
佐藤 徹	常勤監査役	
中田 信哉	監査役	

川島 時夫	監査役	
-------	-----	--

辞任しました取締役は次のとおりです。

氏名	旧
遠藤 誠	取締役（非常勤）

《 主要子会社 太平興業株式会社 の役員の地位および担当 》

2024年6月25日をもって、経営体制の強化を図るため取締役2名が選任されました。また監査役1名が辞任し、新たに監査役1名が選任されました。地位および担当は次のとおりとなりました。

氏名	地位および担当	備考
平岡 裕	代表取締役社長	
藤井 俊昭	常務取締役 管理本部長	
藁谷 昌弘	常務取締役 営業本部長	
米田 総一郎	取締役（非常勤）	
小原 雄大	取締役（非常勤）	
岡本 充生	取締役 営業本部副本部長 兼 営業部長	
五十嵐 英男	取締役 山形支店長	
三瓶 昌弘	取締役 総務部長 兼 研修所長	
武藤 幸隆	取締役	新任
小高 育幸	取締役（非常勤）	新任
武田 均	常勤監査役	新任
中田 信哉	監査役	
川島 時夫	監査役	

辞任しました監査役は、次のとおりです。

氏名	旧
長興 俊雄	常勤監査役

《 主要子会社 DT商事株式会社 の役員の地位および担当 》

2024年6月25日をもって、経営体制の強化を図るため、取締役1名を増員し、新たに選任されました。また監査役1名が辞任し、新たに監査役1名が選任されました。地位および担当は次のとおりとなりました。

氏名	地位および担当	備考
平岡 裕	代表取締役社長	
米田 総一郎	取締役	
藤井 俊昭	取締役 総務部担当	
藁谷 昌弘	取締役 営業部担当	
神保 智宏	取締役 統括部担当、統括部長	新任
武田 均	監査役	新任

辞任しました監査役は、次のとおりです。

氏名	旧
長興 俊雄	監査役

以上

お問い合わせ先

 **ディー・ティー・ホールディングス**

山形県山形市諏訪町二丁目1番20号

Tel. 023-624-7101 Fax. 023-624-7102

【担当窓口】 企画管理部